

## 市政に関する地域座談会実施報告書

開催日時	平成21年 7月16日(木)午後7時30分～午後9時00分		
会場	上野公民館	出席者数	28人 (男21・女7)
地域座談会の内容(市長講話・質疑応答の内容等)			
<p>【市長講話】資料「平成21年度寒河江市の予算について」により、今抱えている重要課題について、景気・雇用対策 少子高齢化対策 安全・安心、元気なまちづくりの3つにまとめ説明した。また、市債残高の減少への努力や、貯金としての財政調整基金拡充の必要性を説いた。</p> <p>【質疑応答の内容】</p> <p>(1)小学生のバス通学経費の軽減について(30代男性)</p> <p>上野子供会の代表ですが、上野、宮内地区については、子どもたちが山交バスで通学している。学校に近い子どもに比べその分負担が大きくなっている。バス代は月3千円程であり、私の場合は子ども2人で6千円かかる。子どもが3人というケースも出てきそう。年額にして負担が大きいため、その負担を軽減してほしい。たとえば、田代、幸生の場合、陵西中に市のスクールバスを運行しているが、同じように何らかの形でバスを出してくれるとか、バス代を助成するとかして、義務教育の期間だけでも、通学に関する費用を軽減していただきたいので要望します。</p> <p>市長：通学にかかる負担をなるべく軽減してほしいという要望であります。この地区(宮内)からは、陵西中のスクールバスに乗せてくれという要望を前にいただいている。その場合、一緒に乗るわけだからバス代がかからない訳だが、遠距離通学をしているのはほかの地区にもあるということで、教育委員会では困っている。市内でほかの地域でも同じ遠距離通学の問題があり、地域座談会でも要望があって回答していると思うのだが、バスに全員を乗せるには乗りきらない地域という所もあるということで、教育委員会でもこの地域だけ優遇することができないという事情がある。</p> <p>財政的な支援というのもひとつの手立てと思うが、ほかにも遠距離通学している所もあるので、他の地区とのバランスも考えて、どのような方法があるのか、こちらだけ、あちらだけということできないし、また、どのくらいまでしていくのかという具体的なことになると難しい問題もあるので、教育委員会とも話しながら、再度強い要望があるということから何らかの手立てというものを検討していきたいと思えます。</p>			

( 2 ) 軽度発達障害の勉強会を開いてほしい ( 30 代女性 )

軽度発達障害児の支援について、国、県で行っており、先生方からは学校全体で取り組んでもらっていると思うが、寒河江市としての支援がほかの地域と比べて遅れているのかなと思います。いろいろと個人的に勉強した中で上山の専門の先生から確認したことです。地域単位で勉強会などを開いて、軽度発達障害児のことを理解することが必要と思う。昔、学校で落ち着いて授業が受けられないのは親のしつけが悪いと言われた時代があったようだが、知能的な発達の遅れではなく精神的な発達の遅れというかフォロー面からきているのだが、若い世代の親はそういうことを知らないで、なんでうちの子どもはこうなんだと悩んでいる人も多いと思う。また、それが子どもに対する虐待につながることもあると聞いている。

天童市で軽度発達障害児に対しての勉強会をグループ単位でやっているようなので、寒河江市でもそういう活動ができるようお願いします。

市長：ADHD（注意欠陥多動性障害）とかLD（学習障害）ということの話だと思うが、上山市に2～3年前に県で発達障害児支援センターを造っており、研修などしていると思う。

確かに、言われたように虐待に起因するということはあると思うし、若い母親あるいは父親に、子どもの発達段階でのいろいろな症状というか現象を理解してもらうのは大変重要なことだと思う。

天童などの事例や市内の関係者の方と話してみて、市報などでPRしながら、また関係グループにも話しかけながらいろいろな勉強会を進めていくことが必要だと思う。

そういう会合を繰り返すことにより、虐待などが減るようにいい影響に結び付けていきたいと思う。

( 3 ) 消防団員の確保について ( 30 代男性 )

消防団の部長をしているが、年々、団員の確保が難しくなっている。白岩地区に関して言えば、7つの部があるが、そのうち5つの部で、部長までやって、また一般団員に戻ってしまうということがある。新たに入る人がいないためだが、このままだと20年も30年も消防団に入っていないなければならない状況になっている。市としては、分団とか部の統廃合は考えてはいないのか。

市長：分団や部の統廃合をしてもらいたいという提案のようですが、具体的には考えていないというのが現況だ。人がいないからまとめるということとは、少ない人数でより広いエリアを管轄していくということになる。

若い人は働いていて地元にはいない。地元にいるのは年齢の高い人だという状況がある。いろんなグループについても、共稼ぎとか増えてきて、職場も街なかに来ているということで、いろんな団体の存続というものが大きな問題になってきている。婦人会とか若い人で言えばカモシカク

ラブなども成り手がいないという状況もあり、課題としてある。

団長さんとも折につけそういったことについて話をしながら消防団全体の問題として対応していかなければならないことだと思う。市民の安全確保という大きい命題があるから、なり手がいないからすぐ統合しましょうと訳にはいかないが、みなさんの負担が増えてきているという現実があるわけだから、検討していかなければならない、貴重な意見だと思う。

団員を確保していく良い方法というものはないものか、難しいということになると同じ人数で守備範囲を広げていくということにならざるを得ない訳だが。

#### (4) 市道の舗装整備について

元の三山線だが、宮内の方に行けばみなきれいに舗装になっているし、白岩の方は老人センターまできれいになっている。その間の上野の部分だけが修理のつぎはぎ舗装ででこぼこで、農産物も傷んでしまう状況だ。是非、全面舗装をお願いしたい。

もうひとつ三山線から国道 112 号に抜ける農道の角が除雪で田んぼに落ちていた。自力で難儀しながらも上にあげたが、建設課では見回ったり、監督したりしていないのか。安心、安全のためにも補修してもらいたい。

市長：市でもできるだけ見てはいるが、見きれない所もあるので、気付いたことがあれば、こういった場所でも言っていたら、状況を見て必要な手立てをしていくことになる。さっき言った個所についてはできるだけやっていきたいと考えている。

元三山電車の跡地についても、修理修理できており市道がでこぼこになっているということだが、建設課の方でも十分気にしており、できるだけ早く対応したいと考えていますから。建設課で撮った写真も見ており現場について認識しているが、順番もあることなので、できるだけ早くやるということで御理解いただきたい。

#### (5) 企業誘致の促進について (40 代女性)

寒河江工業団地に新たに用地を取得し整地が進められているが、新しい会社が来るといった情報があれば聞かせてもらいたい。

自分は就業しているが、若い人で働きたくても働き場所がない人がたくさんいる。市長はじめ頑張っていて、安心して働ける職場を造っていただきたい。

市長：雇用を充実していくのが基本だと思う。工業団地には全体で 8 千人くらい勤めており寒河江市の雇用にも大きく貢献している。市としても新たな企業を誘致したいということで、まず土地を確保し拡張造成している。それと並行して企業誘致の交渉も進めている。徐々に実を結ぶという状況にはあるが、あくまでも交渉事であり、景気も低迷している中

で、新たな投資をして工場を建設するまでには踏み切れないということで、去年の秋口から停滞してるという企業の事情もある。景気が上向いてくれば、前にあった話が復活するということもある。頻繁に企業誘致のための営業もしている訳だが、市民の方が安心して働ける優良な企業をできるだけ誘致していきたいと考えているので、公表できる状況になるまで今しばらく待っていただきたい。

( 6 ) 側溝の整備の要望について ( 60 代男性 )

毎年、春先に町内会で水路の泥揚げをしているが、青山建設の石置き場の西側の排水路にU字溝を設置してもらいたいが、要望先はどこになるのか。

市長：要望先としては市長で良い。建設課に現場を見てもらうので、そのときは現場を案内してください。

椋津前市議：市議のときに、写真を撮って市の建設課に要望したことがある。

市長：もう1回現場を見て、検討させてもらう。

( 7 ) 危険個所の安全対策について ( 60 代男性 )

旧中川屋温泉敷地東側隅に深い穴が開いており危険なので安全対策をお願いしたい。

市長：先程要望のあったU字溝設置の要望個所を見るときに、一緒に建設課に現場を見てもらうので、現場を案内してください。どこで対応すべきなのか見て、他の所であればそこに連絡もし、市で対応しなければならぬものであれば検討していきます。

( 8 ) 水路の改修について ( 60 代男性 )

湯沢の水路だが、豪雨の際、山砂利が大量に流出することがある。東北電力管理の電気堰の下を通る水路がその土砂でつまり、水があふれ危険な状態になる。家のすぐ隣なので寝てもいられない。その下流の方も土砂が堆積し水路が細くなることから、田んぼが冠水したりするので、改善策をお願いしたい。過去にも関係者に見てもらったりしたが改善されていない。

市長：なんとかしなければならぬと思う。東北電力や土地改良区も関係あるようなので、部落でも意見をまとめるなどしてもらって、連絡しなければならぬ所には連絡したいと思う。

( 9 ) 湯沢の上流の水路の整備について ( 70 代男性 )

土砂の流出に関連してだが、過去に急傾斜地対策で整備してもらっているが、まだまだ残っている個所があり、大雨が降ると山の軽い石が押し流されてくる。上流の側溝を何十年にわたり整備してもらってはいるが、途中、中抜けになっていたり、傷んでいたりでしているので、上流をきちんと整備しないと雨のたびに土砂が流出してくることになる。

市長：上流の根本的な改修が必要だということの意見のようなので、下流ばかり見ても駄目だということなので、どの場所の改修が必要なのか見させてもらい、できるだけ整備を検討していければと思う。

(10)6年生までの医療費の一部助成について(30代女性)

市長は子どもの医療費の事を考えてくださっていますが、医療費の無料化が6年生までは無理ということであれば、500円までは一部負担金として、残りは市で負担してくれるなどの方法でもよいので早い時期に検討してほしい。

市長：全額無料というと結構金がかかる。全部無料にはできないが、ある程度所得制限などを設けながら、福祉政策であるから所得の低い方に対する支援ということで基準以下の方には無料にするとか、基準以上の方には一部負担金の上限を設けるとかして、子育て医療制度ということでの実現可能な方法もあると思うので検討させてください。

(11)冬季の除雪について(60代男性)

家の車庫の前が結構広くなっているが、いつも除雪しないで雪を残していく。市道なのでその場所も除雪してもらいたい。

市長：一人暮らしの高齢者の前にはおかないようにとか、市でも除雪業者をお願いする場合があるが、今言っても効果がないので、その時期が来たら、町会町さんとか建設課に要望をするなどしてもらえば良いと思う。

(12)ごみ袋の形が変わり、以前と比べ量が入らない。また、値段が50円に上がったがどういう所で決めるのか。山形市は安い。

市長：西郡で作っている広域行政事務組合で決めている。要望があれば、私が理事長でもあるので聞いておく。山形市の場合はごみの収集は無料なので袋だけの代金だから安いのであって、有料になれば高くなる。広域の場合は処理する費用も加算してお願いしているので御理解していただくしかない。袋の形についてはいろいろ検討した結果今の形になったと思うので、さらに形を変えてもらいたいということであれば、今の袋もかなりの数量が出回っているので、時間をかけて検討させてもらうことになる。

前の袋は使えない訳だが、クリーンセンターに前の袋をもって行けばこれからも換金することになっている。

(13)消防団の行事の見直しについて(30代男性)

安全、安心という観点から、消防団の統廃合は難しいということであれば、行事の見直しをお願いできないものか。

消防団に入ってから、行事が増えている。2年に1回、操法大会があるし、その間に運動会などもある。

運動会などは負担になっているので、行事の見直しだけでもやってもらえな

いものか。

市長：消防団の組織の方にも、そういう声があるということをお伝え、なるべく負担を軽くしながら、多くの消防団員に協力してもらいたいと思うので、検討させていただきたい。

後日回答

宮内地区の子供の通学バスの活用要望について

<回答>

小中学校の通学区域は、徒歩または自転車で通学ができるよう、国では小学校が4キロメートル以内、中学校が6キロメートル以内として基準を定めております。

宮内地区から出されている要望として、幸生地区から運行しているスクールバスに空きがあるのであれば宮内地区の子どもを乗せて欲しいという心情は理解できますが、次のような課題があります。

本市のスクールバスは、幸生地区及び田代地区の中学生が国で定める基準以上の遠距離通学となるため設置しているものです。

宮内地区と同程度の通学距離がある地区は他に11地区ほどあり、その内白岩小学校の上野地区、寒河江小学校の洲崎地区の2地区について宮内地区と同様に冬季間の通学について路線バスの利用を学校が許可しており、9地区は路線バスがないために徒歩による通学を行っております。

スクールバスの座席数は補助椅子も含め25席です。幸生地区の中学生が11名、宮内地区の小学生が7名、中学生が6名、上野地区の小学生が16名、中学生が6名で、合計46名となり、1回の運行では乗車できない状況です。

以上のことから、宮内地区だけにスクールバスを活用することは、スクールバスの無い他地区と均衡を欠くことや、スクールバスの乗車定員の関係からスクールバスを活用することは難しい状況であると考えます。

4 市道の舗装整備について

<回答>

市道みやま橋宮内線につきましては、舗装が痛んでおりますが、これまで、オーバーレイ（舗装嵩上げ）やパッチング（部分補修・穴埋め）で修繕してきたところであります。

今回のご質問にあった市道につきましては、特に痛んでいる箇所より優先順位をつけ、限られた予算を有効に活用するため、計画的に修繕してきたところであります。今後においても、オーバーレイ等の施工により計画的に実施してまいりたいと考えております。

## 6 側溝の整備の要望について（60代男性）

<回答>

ご質問の箇所につきましては、平成18年度に要望を受けているところがあります。

市としましては、延長が約60mの用悪水路での整備として検討しておりますが、市内全域で27か所の要望があるため、緊急性や危険性、必要性等を総合的に勘案し、優先順位により計画的に実施しているところです。

今年度の施工につきましては、既に箇所付けが決まっていることから、来年度以降の検討となりますので、よろしく願いいたします。

## 7 危険箇所の安全対策について

旧中川屋温泉敷地東側隅に深い穴が開いており危険なので安全対策をお願いしたい。

<回答>

個人の所有地については、憲法の「財産権の保障」により、その個人において管理保全することとなっており、行政が、個人の土地（民地）に対して何らかの施工を実施する事は出来ないこととなっております。

今回の安全対策については、例えば、地元の町会長さん等において土地の所有者へ働きかけていただき、土地の所有者による危険性の回避、安全の確保の工作をしていただければと考えております。

なお、市において直接安全対策の施工はできませんが、地元の町会長等から相談があった場合、回避の方法や資材の提供等についてご支援できるものと考えております。

（今回の件について上野町会長と協議しております。）

## 8 水路の改修について（60代男性）

<回答>

先般、上野町会長と現場を調査させていただきましたが、ご質問の箇所につきましては、上流から流れてきたと思われる砂利が水路の底に堆積している状態で、電気堰を通る暗渠の断面が狭くなっているところでありました。

平成16年頃にも、大雨の影響で同様の箇所に砂利等が堆積した経過があり、当時の土木課において浚渫したところでもあります。今回も、建設課において浚渫等を実施したいと考えているところであり、浚渫の際は、町会長に連絡を取りながら実施してまいりたいと考えております。

## 9 湯沢の上流の水路の整備について（70代男性）

<回答>

今回ご質問の箇所につきましても、上野町会長と一緒に現地を調査させていただきました。当該箇所につきましては、上野急傾斜地崩壊危険崩落箇所区域となっており、これまで、大雨等の災害が発生した際に、災害復旧工事等で整備を行ってきたところであります。

湯沢川の整備につきましては、危険箇所や流出に支障をきたしている箇所等については計画的に検討してまいりたいと考えております。

#### 11. 冬季の除雪について（60代男性）

<回答>

ご質問にありました箇所につきましては、市道本線の除雪の際に、車庫等の入り口の一部広がっている部分についても除雪していただきたいとのことですが、早朝の除雪につきましては、基本的には、本線の交通の確保を最優先として作業を行っており、全ての道路に言えることですが、雪を道路両側に押しながら作業を進めている状況から、車庫の出入り口を確保する際に、この雪を片づけなければならないことからのご質問と理解しております。

当該除雪委託業者に、このことについての内容を伝えてまいりたいと考えておりますが、除雪に際して置いて行った出入り口等の雪については、各個人において片付けていただければと考えているところでありますので、よろしくお願いいたします。